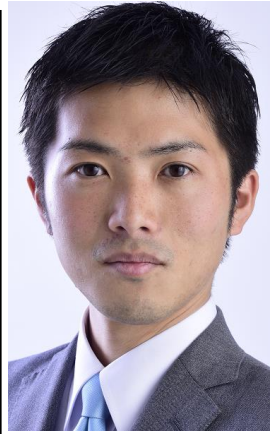


かとうゆうすけ 横須賀市議会議員/無所属/30歳

- 1988年 3月8日生 浦上台出身/在住
- 浦賀小学校・浦賀中学校卒
- 特技:中国語 ■趣味:ドラム ソフトテニス 釣り カラオケ
- 2006年 県立横須賀高校(58期)卒業 ソフトテニス部
- 2007年 吉田雄人インターンシップ生
- 2008年 南開大学(中国・天津)へ派遣交換留学
- 2010年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
(株)ワーク・ライフバランス インターンシップ生
- 2012年 アクセンチュア(株)退社、復興支援のため福島に移住し、
復興支援団体 (一社)BridgeforFukushimaの職員として勤務。
- 2014年 復興庁福島復興局政策調査官を兼任。
- 2016年 4年半の復興支援を経て、横須賀へ戻る。
- 2017年6月25日 横須賀市議会議員当選。
会派 無所属みらい 委員会:教育福祉常任委員会

加藤 ゆうすけ



090-7710-7281(本人携帯)

<http://katoyusuke.net>

mail@katoyusuke.net



“加藤裕介”



@katoyusukeYK



報告 「EBPM(Evidence-based policy making 証拠に基づく政策形成)」 と、「教育政策」について一般質問しました。

「EBPM」とは、十分なデータと厳密な方法に基づいて、政策効果や費用を分析し、政策形成の根拠としよう、という考え方です。「なぜ、その政策が有効なのか」の理由説明は、本市の厳しい財政状況を前に欠かせません。また、「EBPM」は、経済政策・公衆衛生政策・文化政策・教育政策など、あらゆる分野に求められます。今回は、「EBPM」に対する市・市教委の考えに加え、かねてから私が関心を強く持つ教育政策について、若者支援、特に「生活困窮世帯の児童に対する学習支援・居場所支援」推進への思いも込めて、一般質問で取り上げました。



●質疑 (※加藤抜粋。正式な会議録は3か月程度経つと、市議会webサイト等で公開されます)

【EBPM】

▽(加藤):都市政策研究所の作成した「横須賀市のエビデンスに基づいた政策形成に寄与する経済波及効果分析ツール」に対する市長の評価は?

●(市長):議員時代から事業効果検証の上で必要性をずっと求めていた。大きく評価している。

【教育政策】

▽(加藤):生活困窮世帯の子どもに対する学習支援において支援対象となった子どもの変化を継続的に追い、事業の結果を将来の政策に反映させることについて、どのように考える?

●(市長):確かに支援対象になった子どもの変化を無理なく継続的に追うことができれば将来の施策に生かせるかもしれない。学習支援は、成果があがるかあがらないかにかかわらず、福祉的視点で、継続して行わねばならないものだと考える。そのため、市として継続して変化を追う必要はないのではないかと考える。

●(教育長):この事業自体は、家庭を支援している、福祉的事业と捉えている。子どもの成長過程では人との関わり・環境などが、(事業)成果に大きく影響することを考慮すると、特定の事業の結果のみをもって、次の政策にフィードバックすることにはなじまないと考える。

「なぜ、その政策が有効なのか」をわかりやすくし、将来の政策をもっと良いものにしよう!との思いは、市長部局・市教委も同じだと思っています。議論の前提を揃える難しさを感じた今回でしたが、引き続き取り組みます。

裏面へ続く

委員会（教育福祉）：教職員の多忙化解消にむけて

5月から、私は教育福祉常任委員会の所属となりました。昨今報道でも話題に上ることの多い「先生が忙しすぎる」問題について紹介します。

一般報告「教職員の多忙化解消にかかる取り組みについて」に対して、多くの委員(議員)から質問が出ました。例えば、横須賀市の教頭先生の一日の平均学内勤務時間は、小学校13時間30分、中学校13時間51分。実に5時間の超過勤務です。市教委も、「教頭が、校長の代わりをする部分や、総括教諭その他の教諭の対応する仕事を補い手伝う部分があるだろう」と課題意識を持っており、こうした現状も踏まえた今後の取り組みとして、教職員の働き方改革検討会議および4分科会(管理職/教員/部活動/事務職員)を本年度開催し、複合的に要素の絡み合う「先生が忙しすぎる」問題解消に向けて取り組むことが報告されました。

- 勤務実態調査から判明した主な課題(※委員会資料より引用)
- (1)全ての校種、職種で、勤務時間を超える長時間勤務。
 - (2)管理職は、週休日・休日や勤務時間内外において、保護者・PTA対応や地域対応等に長時間を費やしている。
 - (3)教頭が行っている学校経営に関わる業務は、多岐にわたり、内容が明確でないことが多い。
 - (4)部活動指導が長時間な総括教諭・教諭がいる。
 - (5)勤務時間に対する意識の低い教員がいる。

●教職員の働き方改革検討会議
+ 下部組織に4分科会を設置

●4分科会

【管理職分科会】働きやすい環境づくり、長時間勤務の防止、保護者・市民へ学校業務についての理解促進等について検討

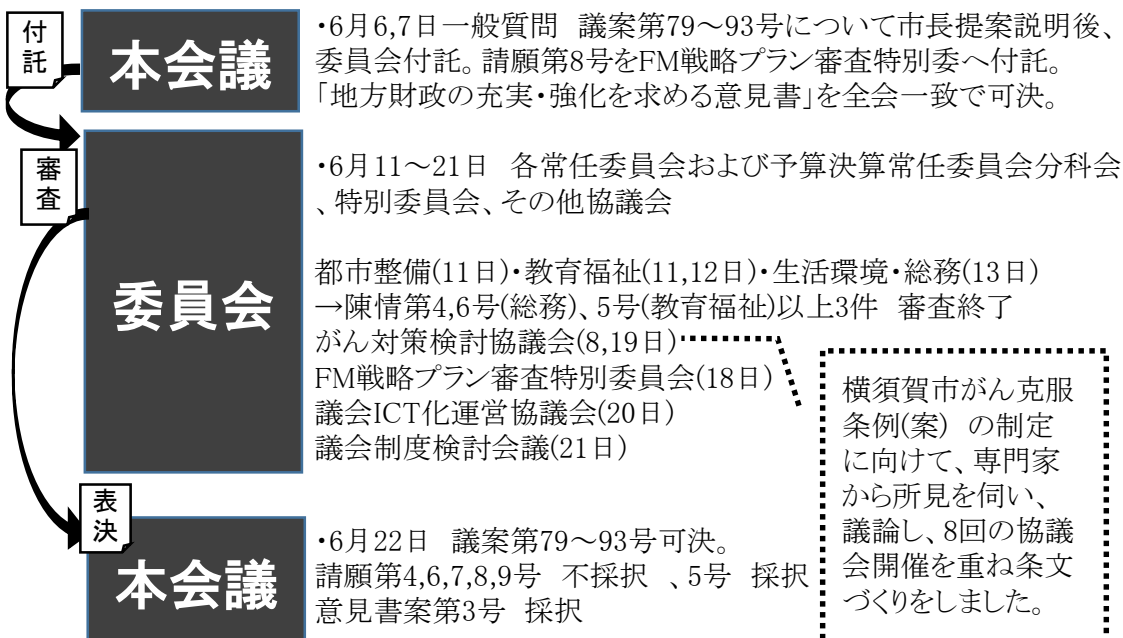
【教員分科会】タイムマネジメント意識の向上、子どもと向き合う時間を生み出す工夫について検討

【部活動分科会】本市における部活動の在り方、合理的かつ効率的な部活動の推進等について検討

【事務職員分科会】学校運営への参画等について検討

※本会議および常任委員会は、録画がいつでもインターネットで見られます。
<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/yokosuka/WebView/>

今回(6月定例議会)のながれ



大まかに、

- 1)本会議で議案が出され、
 - 2)議案は所管の委員会へわたされ(付託)、
 - 3)委員会で話し合い(審査)、
 - 4)最後、本会議で表決。
- という流れです。

【加藤ゆうすけ所属】

- ①教育福祉常任委員会
- ②予算決算常任委員会、
- ③FM戦略プラン審査特別委員会
- ④がん対策検討協議会

横須賀市がん克服条例(案)の制定に向けて、専門家から所見を伺い、議論し、8回の協議会開催を重ね条文づくりをしました。

■議員インターンシップ、随時募集中※高校生・大学生歓迎
横須賀のこと、仕事のこと、政治のことを考えるきっかけに、一緒に動いてみませんか? mail@katoyusuke.net か、右のQRコード(本人LINEアカウント)へ連絡!

